

高瀬神社 社報

越中一宮

第19号

平成20年9月13日

越中高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏



私が約八十年生きている間、姿を消してしまつた伝統文化は数多くあるように思いますが、その中でも特に残念に思うものの中に「言葉」とその「使い方」があります。

言葉は人と人が自分の意思を正しく伝達するためにあるものだと思つていたのですが、最近そうでもないようです。言葉の使い方次第で、相手に不愉快な思いをさせたり、悲しい思いをさせたりします。言葉には「言葉」といつて、発言者の気持ちや心といった霊（たましい）が籠められています。最近では霊が抜けて、形骸化した言葉ばかりが交わされていくように感じられます。「はじめ」や「ひきこもり」などの問題は、このような心無い言葉によつて相手を傷つけることで

起こるのではないでしょう。

このように霊を持った言葉の使い方と大變なことになるのです。戦後、「言論の自由」ということが叫ばれて、何を言つても自分の勝手（自由）という考え方があたりまえの社会になりましたが、これは本当に正しいことなのでしょう。自分の言葉に責任を持つ、相手の立場をわきまえる、言つて良いこと、言つて悪いこと等々、最低限のマナーはあるべきだと思います。「思いやり」という我々日本人の伝統的な言葉は姿を消してしまつたのでしょうか。

消えていく言葉があれば、新しい言葉も生まれてきます。流行語というのでしょうか、言葉を縮めたり、外国語と無理に合

体させたり、私には日本語らしくない日本語というもののよう感じられます。特定の人たちの間で通用するのでしょうか、私たちの年配だと通じない言葉です。ですから、若い人と年老いた人の間に考え方やそれぞれの思いといったものが通じないことが多々あるのだと思います。老若男女、同じ国の人であれば等しく意思の通じる言葉が本当の国語というものではないかと思つています。

先日、県下の神職さんを対象に宗教法人の税務について説明会がありました。税務署から担当の職員が来られて、源泉徴収に重点をおいて説明をされました。約四十分という時間でしたが、話を聞いた方々は一様に不愉快な思いと腹立たしい思いをしておられました。聴講者は税務について学習しようという真面目な人たちの集まりであり、脱税者や犯罪者の集まりではありません。お役所の役人という立場からの言葉だったのかもしれない

せんが、聴講者に対する配慮の無い言葉や話し方だつたように思いました。事務的な説明であつたとしても説明者の本意が伝わる言葉の使い方があるはず。このときの税務署職員の思いは、おそらく聴講者には通じていないでしょう。

「憂きことを海月語る海鼠かな」。長い時間をかけて培われた言葉や伝統的精神を大切にしていたきたい。せつかく立派な日本語があるのですから、これを上手に使い、潤いのある幸せな生活を送つていただきたいと思つます。誰と対面しても正しい言葉づかいで意思の疎通が図れた社会が再びやつて来ることを切望しています。

最近、手元にいただいた『教育勅語』を読み返しながら、先人たちの素晴らしい英知を少しでもいただくことが出来たなら、どんなに素晴らしい世の中になるだろうかと考えています。

祭事録

夏越の大祓

「夏越の大祓」が去る六月三十日午後三時より氏子・崇敬者約二〇〇名参列のもと齋行されました。

知らず知らずのうちに身についた半年の罪・穢(けがれ)を「人形」に移し、「茅の輪」をくぐって心身を清めました。参列者は残りの半年を清々しく過ごせるよう真剣にお祈りしていました。



「第九回 人形感謝祭」

本年度九回を数える「人形感謝祭」は去る七月二十日午前十一時より齋行されました。

特設の納め所には子供の成長とともに古くなったり、壊れたりした「人形」や「ぬいぐるみ」など、約二〇〇体が持ち込まれ、「大麻」と「切麻」にてお祓いしました。

参列者一同、感謝の言葉と誠心を捧げ、おわかりしました。



除熱祭

去る七月二十一日午前十時、稲や畑作物に災害なく無事に生育するよう祈願する「除熱祭」が齋行されました。

御本殿での祭典後、順調に成育中の献穀田に出向き、御幣を立てお祓いをして、更なる御加護を祈念しました。

また、夕刻には氏子による「熱おくり太鼓」が演奏され、暑さに負けず夏を乗り切ろうと大太鼓が打ち鳴らされました。



諸催事のこと

「国家隆昌祈願祭」

去る八月三日、富山県神社総代会砺波支部総会に併せ、「国家隆昌祈願祭」が齋行されました。

暑さ厳しいなか、約二〇〇名の総代が参列し、国の隆昌と皇室の弥栄を祈念しました。

祈願祭に続き、多年にわたり氏神社のお世話をされた十二氏に、総代会支部長より感謝状と記念品が贈られました。



杜の「わさび」

「第八回人形展」開催

「人形感謝祭」にあわせ七月十九日より二十一日まで「第八回人形展」二期一会——人形と華とのコラボレーション——が開催され、木彫や和紙・ガラスなどをもちいた作家十二名の創作人形一〇〇点余りの作品が展示されました。また、いけばな草月流富山県支部「秀抱会」により会場が装飾されました。

展示期間中は人形愛好家などの大勢の人で賑わいました。



池田由美子 (砺波)



牛島 辰馬 (城端)



飛騨山静恵 (富山)



荒井 恒雄 (井波)



野村 幸子 (井波)



田中 孝明 (井波)



安達 陽子 (砺波)



松本 昌子 (利賀)



◇装飾

草月流富山県支部「秀抱会」
会長 梅崎秀鈴 (庄川)



谷口 淳一 (滑川)



小幡 祐嗣 (富山)



千綾真由美 (金沢)



小路口力恵 (富山)

参 拜 日 誌 抄

(敬称略)

(平成二十年六月～八月)

「六月」

二日 子神社氏子会(横浜市)
 欄宜 小野和伸 以下四十一名

六日 (株)越路ガーデン
 西尾廣士 以下十五名

八日 氏子清掃奉仕(村総出)
 十三日 立正校成会(清掃奉仕)
 十五日 新庄八幡宮崇敬会(倉敷市)
 宮司 藤山知之進 以下二十八名

穴澤天神社奉賛会(稲城市)
 宮司 山本頼信 以下八十名

十七日 七尾市国際ソロプチミスト
 二十五名

二十一日 高瀬遺跡菖蒲まつり実行委員会
 十五名

二十九日 砺波工業高校野球部父母の会
 三十日 高瀬稲荷商売繁盛祈願祭
 高瀬稲荷講社講員

「七月」

一日 中越パッケージ(株)砺波工場
 中越パッケージ(株)富山工場
 中越パッケージ(株)福光工場
 川田工業(株) 五十名
 建設業労働災害防止協会
 富山県支部砺波分会六十名
 (社)富山県労働基準協会
 砺波支部 六十名
 林業木材製造業
 労働災害防止協会砺波分会
 タカハタ工業(株)
 タカハタ工業(株)高和会
 一〇〇名

二日 神道青年全国協議会
 副会長 永井武義
 副会長 上田正宙
 松本建設(株)

三日

神道青年全国協議会

会 長 久富真人

副会長 上田正宙

監 事 春木秀紀

六日

砺波高校野球部 三十六名

七日

神社庁砺波支部役員 七名

八日

庄西中学校野球部

九日

南砺市立吉江中学校 二十名
(校外授業)

十一日

福野高校野球部 二十九名

十三日

神社庁砺波支部

神社総代会砺波支部 三十名

新潟県神社庁西蒲原支部

支部長 三部正人

以下一五二名

立正校成会(清掃奉仕)

東近江東部会(滋賀県)

十四名

二十三日

吉江中学校吹奏楽部

二十四日

(財)伊勢神宮崇敬会

平本貴典

「八月」

三日

第五十一回富山県神社総代会

砺波支部総会

神社総代会砺波支部

「国家隆昌祈願祭」

九日

となみ野一〇〇キ徒歩の旅
一、二〇名

二十二日

尾張一宮真清田神社日供講

野田公隆

都竹昭雄

奈良裕之

青柳麻喜

(神事奉納参拝)

二十六日

高瀬神社崇敬会群馬支部五名

大宮熱田神社梓川神徒会(松本市)

二十五名

団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

不明な点は社務所までおたずね下さい。

ね下さい。

(初穂料)

一〇、〇〇〇円

平成二十一年「初詣献灯」の御案内

当社では「初詣献灯」を実施致しております。

本行事は、初詣期間中に正参道両側に「提灯」を掲げ、来る新年が更なる輝かしい一年となるよう、尚一層の御神徳を授けて戴くことを願い奉納するものです。

一、「初詣献灯」は正月七日まで、境内等参拝者道筋に献灯いたします。

一、「初詣献灯」は、それぞれ正面に希望の芳名（会社・氏名等）を記入いたします。

一、献灯者の家内安全・商売繁盛の祈願祭を奉仕いたします。

一、献灯初穂料は、一基につき 金壱萬円御志納願います。

一、申込締切十一月三十日までにお申込下さい。

※記載芳名 例（約八文字）

一、会社

南砺市 (株)高瀬
高瀬産業株式会社

二、個人

高瀬 高瀬太郎
高瀬 太郎

ブライダルフェア情報

九月

十七日(水)

午後一時～午後五時

神前式説明会及び相談会

二十日(土)～二十三日(火)

午前九時～午後四時

神殿見学・披露宴会場見学

お見積相談など

十月

八日(水)

午後一時～午後五時

神前式説明会及び相談会

十一日(土)～十三日(月)

午前九時～午後四時

神殿見学・披露宴会場見学

お見積相談など

十一月

十六日(日)

午前九時～午後四時

結婚準備相談会

お見積相談など

十一月

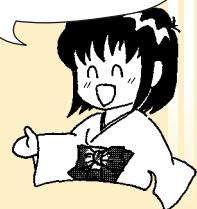
七日(日)

午前九時～午後四時

結婚準備相談会

お見積相談など

上記以外の日もご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



新春

ブライダルフェア

平成二十二年二月二日(木)

午前零時～午前三時

午前九時～午後五時

☆結納品展示

☆御婚礼商品展示

☆ウエディングドレス展示

及び試着会

御案内

七五三詣

本年は次の通りです

○七歳（女子）

平成十四年生

○五歳（男子）

平成十六年生

○三歳（男女）

平成十八年生



※ 十月一日より十一月末日まで、毎日午前八時三〇分より午後四時三〇分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等でご奉仕できない時間帯がありますので、社務所までお問い合わせ下さい。

尚、十一月二十三日は新嘗祭齋行のため午後一時より受付いたします。

第三十五回献茶式

十月二十六日（日）

午前十時齋行

古儀茶道敷内流ご奉仕

（薄茶席・二席）

午前九時～午後二時三十分

（主催）

高瀬神社献茶奉賛会

（本席）

古儀茶道敷内流

福嶋慶子社中

（副席）

古儀茶道敷内流

清沢福来子社中

（茶券）

一枚三千円（短冊・点心付）



平成二十一年
初詣奉仕巫女募集



初詣にご奉仕いただく巫女を募集します。

〔期間〕 一月一日～三日

〔募集人数〕 八十名

※詳細は社務所へ

お問い合わせ下さい。

奉納

○染色画「時光」

南砺市年代

香川真有美 殿

平成二十年七月二十日

○古布人形「うさぎ」二体

南砺市井波

野村 幸子 殿

平成二十年七月二十日

編集後記

去る七月二十八日、当地方を襲った水害において被災された方々に、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

昨今の異常気象は自然破壊をしている人間に対する神様からの警鐘なのでしょいか。改めて自然の偉大さ、脅威を感じました。



〔表紙写真〕

収穫間近の献穀田

発行日 平成二十年九月十三日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0217 富山県南砺市高瀬一九一

TEL 0763-82-0932 FAX 0763-82-1304

編集人 浦

泰宏

印刷所 牧印刷株式会社



高瀬神社

七五三衣裳内見会

和装レンタル
¥10,500～

七五三のお参りは、
魔法の着物で
とびっきりおめかし

平成20年10月18日(土)・19日(日)
午後1時～午後5時



洋装レンタル
¥8,400～

初めての記念日に、
極上のフォーマルを身にまどって大変身



お問い合わせ・ご予約は

越中一宮 高瀬神社 担当 黒田
TEL 0763-82-0932

真心こめた手造りの粋

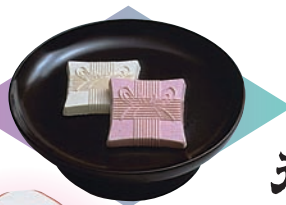
ご婚礼引出物 いろいろ



寿五品セット



松竹梅



御所落雁

井波の伝統名菓
[登録商標]

お祝いごとに、贈りものに

高瀬神社御用達
おつぎ屋
〒932-0217 富山県南砺市本町
TEL 0763-8210402
FAX 0763-8210467